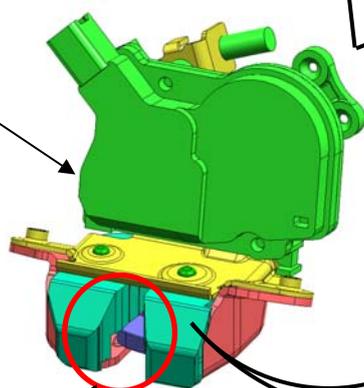


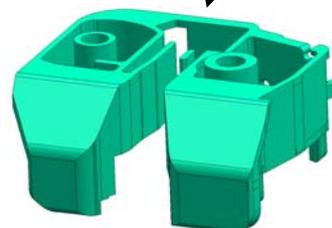
改善箇所説明図



バックドアラッチ



樹脂ボディ



基準不適合発生箇所

バックドアにおいて、バックドアラッチの製造不良により当該ドアラッチの樹脂ボディの寸法が不適切なものがあり、ロック機構が作動しないため、ドアが確実に閉まらない場合がある。そのため、最悪の場合、走行中にドアが開き、積載物が落下するおそれがある。

改善の内容

全車両、バックドアラッチを点検し、樹脂ボディの寸法が不適切なものは、バックドアラッチ一式を良品と交換する。

注： は点検し、必要に応じ交換する部品を示す。

識別：ID プレートに白色のシールを貼付する。